

町の活性化について

町長／役割を整理して検討



米丸文武議員

定住対策を伺う

町長／各種施策に
取り組む

米丸 少子高齢化・人口減少で限界集落も増えつつあり、このままでは町の将来も不安である。町としての対策は。

米丸 農林業、商工業、若者定住、子供の増加など人口確保対策について、今後具体的な施策が必要と思うが町長の考えは。

町長 農林業は、「さつま町農林業いきいきプラン」を基本に。商工業は、町民が地元商店等に愛着をもてるように。定住、人口確保は、働く場の確保のため、企業誘致を。少子化対策は、すこやか支援手当、保育料軽減、結婚対策など、各種施策に取り組んでまいります。



河川の清掃作業

町長 この問題は、市町村がかかえる大変深刻な問題です。
県が進めている共生・協働での取り組みが大きな推進力となり、住民が活躍できるような環境整備を推進することが重要であります。
町と住民の役割を整理し、町独自の取り組みを検討します。

少子高齢化

少子高齢社会対策は

町長／真剣に考えている



麦田博稔議員

麦田 財政シミュレーションを作り、少子高齢社会対策や過疎対策など、歳出にメリハリをつけて豊かな町づくりを進めるべきでは。

町長 少子高齢化が進む中で、人口の減少は進んでいます。



将来を担う子ども達

子供を産み育てやすい環境という事はよく言われるが、財政的支援は、今は難しい状況にあります。たが、交流人口200万人を目指すための具体策は。

定住対策、結婚対策など、少子高齢社会対策は真剣に考えています。
町長 観光協会や関係機関団体との連携を図り、温泉、ホテル、梅、竹、農産物などの素材を活かした事業、イベント等の積極的な展開、特産品の開発、歴史文化の活用、コンベンションタウンの更なる推進など、総合的に取り組めます。

観光振興対策は

町長／総合的に
取り組む

麦田 観光振興を図るために、「さつま町観光推進基本計画」が策定され